

遊便



広報誌：「遊便」（第22号）
発行：医療法人 仁風会 八雲病院
発刊日：2022年4月7日

「日日は好日」

医事課長

福島 浜子

みずのえしら

今年は六〇年に一度訪れる壬寅の年です。戦国の武将家康公も壬寅の生まれだそうです。新しく立ち上がる、生まれ変わったものが成長すると言う縁起のよい意味合いがあるそうです。

昨年の夏には一年遅れの東京オリンピック・パラリンピックが開催、今年に入り冬季オリンピックが開催され、日本人の活躍には胸が熱くなりました。国境を超えて喜び合う姿にも感動しました。選手の皆さんは、コロナ禍の中にもかかわらず、夢と目標を持ってここまで来られたのは、言うまでもありません。今まで、多くの方々の言葉に励まされてきました。様々な講演会に何度か通い、元気をもらいました。

「色々な事があってもすべてはうまくいっている、何が起きてもありがとう、難が有るから有り難う、ありがとう一千回で次々の奇跡、すべてがあなたにちようどいい、掃除と笑いと感謝する事」、言葉の力は大きいです。

日日は好日と言う言葉は茶の湯の席でよく目にします。茶道は、季節のお菓子、お茶、茶碗、釜、茶花、伝統工芸

品の数々を五感を使ってその瞬間を味わうことです。亭主のおもてなしの心をくみ取ります。日本には四季があり、素晴らしい景色が沢山あります。歴史や伝統文化や伝統工芸品を継承して残して欲しいものです。毎日毎日同じ日はないので、ひとつひとつの物を大事に人との縁を大事に日々の感謝を忘れずに過ごすこと。

昨年オミクロン株が猛威を奮い収束が見えない状況に誰もが不安を抱えています。そんな中だからこそ、医療機関は信頼できる安心の場でなければなりません。

医事課職員として、患者さん、ご家族の皆さん、病院内外の医療スタッフさんとのコミュニケーション向上を目標に、より相談しやすい環境と連携強化を行い、より良い病院にして行き、笑顔・笑声で対応を心がけて参ります。

遊便第二十二号もくじ

巻頭言	1
虐待防止について	2
被害者支援への取り組み	2
国際交流員出前講座開催	3
ピア・サポーターの活動について	3
法人アクセス	4

発行元：
〒690-0033
松江市大庭町1460-3
医療法人仁風会 八雲病院
広報委員会
電話：0852-23-3456

2021年9月6、7日、法人内で障害者虐待防止に関する研修を行いました。コロナ感染対策のため、集合形式はとらず、ビデオも使用せず、レジュメと2種の資料を各部署に配布し、職員で以下4つの手順で読み合わせ等しながら行いました。

① まず、イメージ作りから取り掛かりました。下記の状況を頭の中でイメージしてもらいます。

「あなたは精神症状を発症し、精神科病院に患者として入院しました。そんなあなたから見て、主治医や職員がどのように見えますか？→頭の中で1分間イメージしてから、解説（一番下段に掲載）を読んでもらいます。

② 職業性ストレス簡易調査票（※厚生労働省「作業関連疾患予防に関する研究班」ストレス測定研究グループが平成7年～11年度にかけて作成したもの）の57項目を10分間で回答してもらいます。

③ 「職場内虐待防止研修用冊子」を職員間で読み合わせをしながら、気になったこと、疑問に思ったことなどをメモしてもらいます。

④ 最後にふりかえり。冊子を読んで、気が付いたこと、疑問に思ったこと、感想などを職員間で意見交換してもらいます。以下は、意見交換した一部ですので、ご紹介します。

「何が虐待にあたるのかを分かっている人と分かっていない人がいるのではないかと思います。」

「嘘をつかないことと資料にあるが、「嘘をつけない環境」があることもあるのではと思う。そのためにも風通しの良い環境を作る必要性を感じる。」

「最近も虐待事案がニュースに出ていた。大なり小なり、虐待のない法人はないと思う。普段から言い合える職場の環境作りが必要と考える。」

「これまで、障害者虐待は福祉にしか言われていなかったが、2022年4月から医療領域にも障害者虐待防止委員会の設置が求められることになった。すでに福祉領域は障害者虐待防止協議を毎月行っている。病院もようやく準備を開始できた。」

（精神保健福祉士 森脇英人）

【解説】三好春樹氏の著書「関係障害論」の中で「専門職ということ自体が権力である。権力があると対等に人と接することはない。必ず上下関係が生まれる」とあります。職員であること自体が、患者さん・利用者さんという立場から見て、対等ではないとしたら、権力だとしたら…を想像して頂ければいいかと思います。そうした権力が虐待の火種の1つになる場合があります。

地域連携

被害者支援への取り組み

当法人の敷地内、地域活動支援センター・相談支援事業所 ビ・フレンドリング・ならびに精神科デイケアたんぽぽ横に「島根被害者サポートセンター支援自販機」が設置されています。この自動販売機では、皆さんが購入された飲料代金から1本につき10円が犯罪被害者支援活動への寄付になる仕組みになっています。

2021年1月から12月までの寄付金の合計金額は38,538円でした。お寄せいただいたご厚意は、島根県被害者サポートセンターにて活用されます。ご協力いただき、誠にありがとうございました。



被害者支援サポートセンターとは、事件・事故の被害者や、そのご家族、ご遺族に対して、精神的支援や付き添いの支援を行うとともに、社会全体の被害者支援意識の高揚を図り、被害者の被害の回復及び軽減に資することを目的とする民間ボランティア団体です。

犯罪被害者やそのご家族の方々に、様々な支援、サービスを行います。

法人内取組

国際交流出前講座開催

地域活動支援センタービ・フレンドリングでは、プログラムの一環として、毎年、松江市の国際交流員さんをお招きし、国際交流員出前講座を開催しています。国際交流員出前講座を通して、諸外国の文化や歴史、多様性について学ぶことを目的としています。

韓国文化を楽しむ

10月13日、松江市国際交流員出前講座を開催しました。今回は、韓国からの交流員、崔美貞(チェ・ミジョン)さんにご講演いただきました。

韓国ドラマの場面や、今大人気の韓流スターについてのクイズを交えながら韓国の文化について話をされ、楽しく韓国について学

ぶ事ができました。後半は、崔さんが、華やかな韓服に着替えられ、色彩豊かな韓国の文化を目にすることができました。

参加者からは、「崔さんの日本語が上手でびっくりした」「とても分かりやすい内容で、韓国を身近に感じられた。」「とても楽しかった。」「済州島に行ってみたくなった。」「コロナ禍で旅行には行けない中、旅行気分浸れた」などの感想が寄せられ、大好評でした。

(ビ・フレンドリング
笠置来未)



クイズを交えた講演の様子



当日はプログラム「折り紙サークル」で作成した、韓服とムクゲの花が会場に彩りを添えました

ピア・サポーターの活動について

みなさん、“ピアサポーター”という言葉を知ったことがありますか？

“ピア”は「対等」「仲間」という意味で、同じ悩みを持った者同士の対等な支援をピアサポートと言います。ピア活動を行う主体として役割を持った人のことをピアサポーターと言います。

当センターでのピアサポーターは、精神疾患やそれによる障害がある方が、病気の体験をもとに同じ障害を持った人と話をしたり、共に行動したりします。ピアサポーターの方は、精神障害を持

つ人たちが抱える困難に対して同じような体験があることで、同様の症状を知っており、障害を理解しやすく、共感しやすい面もあります。

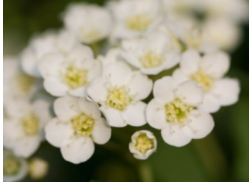
ビ・フレンドリングでは、当センター内でカウンセリングをしたり、引きこもりがちの方や外出しにくい方の家に訪問して、自分の体験を話したり、相手の話を聞いたり、また一緒に行動もします。病院を訪問して、長期入院している精神障害のある方たちの退院や地域生活への定着を支援する役割としても期待されていますが、昨

今ではコロナ感染対策のため、病院に出入りすることが出来ない状態が続いています。

現在、ビ・フレンドリングは4人の登録者と、未登録ですがピアサポーターを目指す方が2カ月に1回、集って、活動報告をしたり、テーマを決めて勉強会を開催しています。「ハートフル・ミーティング」という名称です。今後も会を継続しながら、それぞれのピアサポーターに合った活動ができるよう進めていきたいと思っています。

(ビ・フレンドリング

錦織里美)



わたくしたちは心の声を大事にします
わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

医療法人 仁風会

○八雲病院(外来診療時間午前中のみ受付時間)

平日8:30—12:30/土 8:30—11:30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話(0852)23-3456

FAX(0852)23-3495

・デイケアたんぽぽ(精神科デイケア)

月曜日—金曜日 午前9:30—15:30

・デイケアやくも(重度認知症デイケア)

月曜日—金曜日 午前9:00—15:30

・八雲病院 居宅介護支援事業所

○コスモス(自立訓練【生活訓練】事業所)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ビ・フレンドリング(地域活動支援センター・相談支援事業所)

松江市大庭町1461-3

電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里(認知症グループホーム・介護保険)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3700

FAX(0852)23-3710

ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、是非下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会八雲病院、広報誌「遊便」共々よろしく願い致します。

(医)仁風会 八雲病院
広報委員会まで

表紙写真について

国宝松江城の写真です。三角屋根の千鳥が羽を広げたような姿から、別名千鳥城と呼ばれています。

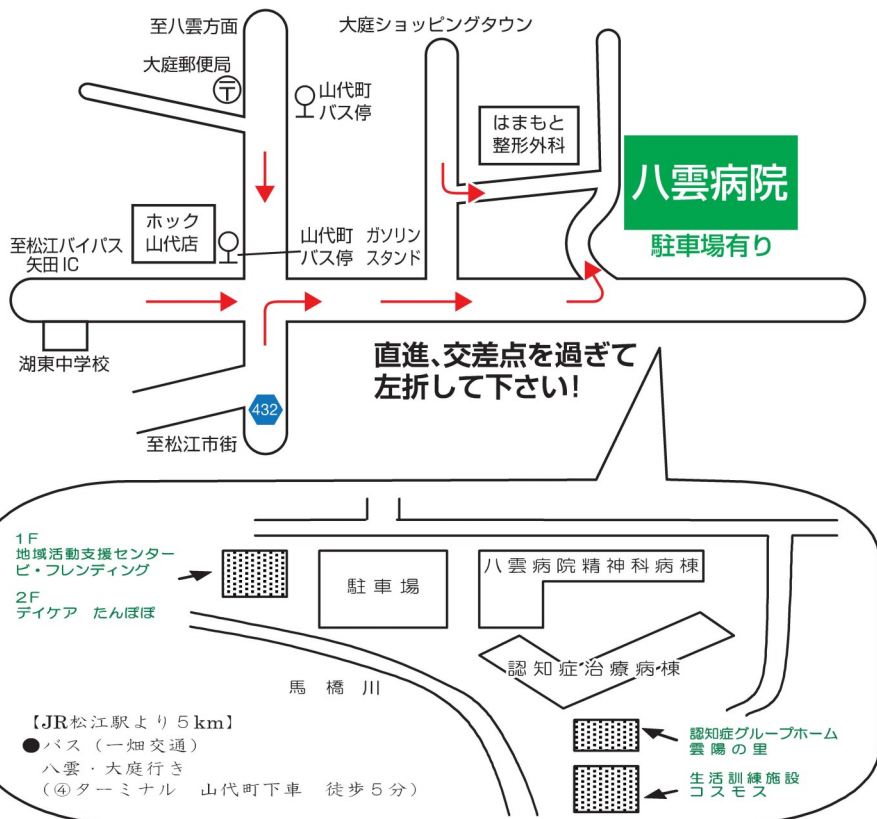
(撮影者：狩野 裕次)

お知らせ

ホームページのご案内

当法人の各種サービスについてホームページで紹介しております。スマートフォンにも対応しています。ぜひご覧ください。

アドレス <http://www.yakumohp.net/>



編集後記

近頃は、家で過ごす事が増えており、私は掃除をする機会が以前よりも増えました。普段は出来ない場所や、リビングを定期的に掃除する事で、居心地の良さを感じるようになっていきます。模様替えなどをしながら、リフレッシュしながら、新年度に向けて準備したいと思います。

(奥井 守)